

臨床研究計画書

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

1. 研究課題名

当院における食道関連多科合同手術症例

2. 対象となる方

2020年7月～2021年12月に当院で経験した食道関連多科合同手術を受けられた患者さん

3. 研究の目的

食道関連手術においては時に、隣接する心臓、大動脈、気管などの重要臓器を扱う手術操作が求められることがある。当院では、このような専門性の非常に高い手術手技が必要となる症例の手術は多科合同で行うことにより、安全性、確実性の高い治療を実践できるように取り組んでいる。今回、2020年7月から2021年12月までに当院で経験した食道関連多科合同手術症例について検討する。2022年日本消化器外科学会において、当院の症例検討について発表する予定である。

4. 研究期間

2022年7月（倫理審査委員会承認後）～2022年12月31日（予定）

5. 研究による患者の利益と不利益

利益 今後も近年の診断技術の向上に伴う、食道癌+他癌との同時性重複症例の増加や胸部手術後あるいは大動脈ステントグラフト挿入術後の食道関連困難症例に対する、多科合同手術の需要も高まると考えられるため、症例検討を行うことにより、今後の手術の発展につながると考える。

不利益 臨床診療・保険診療範囲内での手術手技の工夫と知識の発表であり、今回の研究で患者への不利益はないと考える。

6. 研究に使用する試料・情報の種類

診療情報等：診断名，年齢，性別，既往歴，血液検査，術中および術後合併症，などの
周術期データ，手術時間などの手術記録情報，手術ビデオ 等

7. 研究組織

当院のみでの検討

8. 研究責任者

広島市立広島市民病院外科 副部長 桂 佑貴